

臨床福祉専門学校
平成 27 年度学校関係者評価委員会 議事録

日時：平成 28 年 3 月 19 日（土）10：30～12：00

場所：臨床福祉専門学校 202 教室

出席委員及び所属

大谷 修（非常勤講師代表） 鈴木 和彦（般若クリニック 医師）

相原 実（有明スポーツセンター所長） 矢内 崇博（PT 学科卒業生・同窓会長）

澤田 光毅（ST 学科卒業生）

萬崎 保志（事務部長） 樋口 豊朗（教務課 主任）

※欠席：三浦 隼人（JS 学科卒業生）

1. 委員紹介

平成 28 年度より新たな委員構成となった事から、委員の自己紹介を行った。

2. 学校関係者評価について

「専修学校における学校評価ガイドライン」を元に以下の趣旨説明を行った。

- ・学校評価に関する法令
- ・専修学校における学校評価・情報公開のイメージ
- ・専修学校の評価項目・指標を検討する際の視点
- ・自己評価報告書の説明

「文科省 職業実践専門課程 web サイト」を元に以下の趣旨説明を行った。

- ・職業実践専門課程の概要
- ・学校関係者評価と職業実践専門課程との関連

3. 学校概要について

「学校関係者評価委員会 学校概要」を元に以下の趣旨説明を行った。

- ・学校の状況
- ・学生数及び教員数内訳
- ・就職状況
- ・資格取得状況
- ・退学状況

4. 委員長選出

本委員会の委員長を合議のうえ、相原委員に決定した。

5. 自己評価報告書の評価項目について

自己評価報告書の評価における重点的評価項目の選定について（意見交換）

（大谷）学校の運営基準になるので、取り組むべき評価項目は全体的に及んだ方が良く
と考えるが、難しいようであれば基準 1「教育理念・目的・育成人材像」・基準 2
「学校運営」に取り組んではどうか

- (澤田) 卒業生の視点として、基準6「教育環境」について、特に防災対策として学校側がどこまできちんと取り組んでいるのか精査すべき
- (鈴木) 基準5「学生支援」について、中退率の抑制の為に、カウンセラーを導入し学生サポート体制の確立を行う必要がある。
- (大谷) 基準5「学生支援」について、学生サポートの確立として、一番学生を理解しているのは教員（担任）である。その情報管理方法の見直しを図り、かつ非常勤講師にも意見を聞く機会を設ける必要がある。
- (澤田) 基準5「学生支援」について、カウンセラーの職員の紹介を年度初めに行う事で学校全体の周知を図る。また近くの心療内科と連携を築くのはどうか。
- (矢内) 現実的に本委員会も年に何度も開催する事ができない事から今まで意見が出た項目中心に絞る方が良い。卒業生の視点から基準3「教育活動」も評価はしやすい。
- (相原) 自己評価報告書の記述が大まか過ぎて内容を把握しにくい。また課題に対して、対策・改善点が不明確であり学校として自己評価の方法や報告書の記述についてもう1度見直す必要がある。
- (大谷) それぞれの委員が評価し易い項目もある事から、部分的に絞る事で良い。

⇒自己評価報告書の評価について、重点項目を1～6に絞る事について全委員了承。

(次回委員会の開催について)

平成28年度夏までに開催予定、決まり次第委員に連絡する

